

經濟財政諮問會議（平成30年第9回）

未來投資會議（第18回）

議事録

內閣府政策統括官（經濟財政運營担当）

経済財政諮問会議（平成30年第9回）
未来投資会議（第18回）
議事次第

日 時：平成30年6月15日（金）17:33～17:52

場 所：官邸4階大会議室

1．開 会

2．議 事

- （1）「経済財政運営と改革の基本方針2018」（案）について
- （2）「未来投資戦略2018」（案）について

3．閉 会

(茂木議員) ただ今から経済財政諮問会議・未来投資会議合同会議を開催いたします。

「経済財政運営と改革の基本方針2018」(案)について

(茂木議員) 本日、最初の議題は、経済財政運営と改革の基本方針、いわゆる「骨太方針2018」についてであります。

資料1にありますように、総理から諮問をいただいております。また、骨太方針の副題につきましては、総理とも御相談をし、「少子高齢化の克服による持続的な成長経路の実現」としております。

それでは、答申案につきまして、越智副大臣から説明をいたします。

(越智内閣府副大臣) 資料2をご覧ください。本日は、前回の諮問会議での議論や与党での審議を踏まえた主な変更点を説明させていただきます。

第2章において、11ページ上段です。幼児教育の無償化に当たっても、保育の質の向上が重要であることに鑑み、認可外保育施設の認可施設への移行促進策の強化を加えました。14ページ中下段をご覧ください。実践的技術者を養成するに当たり、高等専門学校的重要性に鑑み、記述を書き加えました。17ページ下段です。多様な人材の活躍について、女性、高齢者雇用に加え、障害者雇用が重要であることに鑑み、「障害者雇用の促進」の記述を起こしました。20ページ中下段。「Society 5.0」に向けたフラッグシップ・プロジェクトについて、企業のESG投資が重要であることに鑑み、記述を加えました。22ページ中下段。イノベーションについて、非連続的なイノベーションを生み出す研究開発が重要であることに鑑み、IMPACTに関する記述を加えました。24ページ上段。「働き方改革の推進」について、中小企業に対する丁寧な支援が重要であることに鑑み、記述を加えました。27ページ上段です。新たな外国人材の在留資格について、外国人材に求める日本語能力基準につき、N4相当との記述に代えて、ある程度日常会話ができ、生活に支障がない程度の能力を有することが確認されるとの記述に書き換えました。28ページ中下段。在留管理体制の強化が重要であることに鑑み、記述を追加いたしました。加えまして、少し飛んで47ページ中上段に、このたび目黒区で発生しました事案をはじめとした児童虐待によって多くの幼い命が奪われていることに鑑み、こうしたことが繰り返されないよう、児童虐待防止対策の強化について記述を加えました。

3章です。48ページ中上段です。「経済・財政一体改革の中間評価」に言及するとともに、54ページ中段になります。「社会保障」における「基本的考え方」の記述ぶりを充実させております。

(茂木議員) この骨太方針に関しましては、経済財政諮問会議、また、未来投資会議でも、これまで皆様からさまざま御意見をいただいていたところではありますが、ただいま説明のありました答申案につきまして、御発言をいただければと思います。

（新浪議員） 本年度の骨太方針策定に当たりまして、関係府省庁に大変に御尽力いただきまして、ありがとうございます。

持続可能な社会保障の実現のためには、第1に、何といたっても見える化で明確にわかってきました政策上の効果が低いもの、また、本来、受益者が負担すべきものについては、歳出を大幅にカットしていく必要があると思います。また、第2に、Society 5.0を推進し、AIやデータヘルスなど、技術革新を社会保障制度に徹底的に織り込んでいくことが必要だと考えます。

とりわけ、認知症や生活習慣病など、未病、重症化予防によって生産労働人口の増加と社会の生産性向上を目指していくことが必要だと思います。社会保障においても成長と財政健全化、両方を目指していくべきであり、潜在成長率も向上させながら、持続可能な社会保障を実現することが必要だと考えます。国保につきまして、普通調整交付金に関しまして大変な御尽力をいただきました。地域医療構想の実現のために、2021年度までに抜本的に交付金の配分スキームを見直すべく、今後もより具体的な議論をさせていただきたいと思います。これらによりまして国民に社会保障の持続性に関して安心感を持ってもらう。そして、可処分所得を増やす取組をより進め、消費を促していくことが必要だと考えます。

消費税につきましては、その増税の真のメリットを国民が感じてもらえるように着実に取り組んでいただきたいと思います。とりわけ、デフレ完全脱却をすべく、現在、将来不安がゆえ、現役世代の方々の消費性向が下がっております。また、貯蓄志向が増えているということですので、今後、是非とも現役世代をしっかりと分析し、その消費の状況、また、貯蓄の状況、それをしっかり見ていく必要があるのではないかと思います。

また、外国人材についてです。歴史的にも安倍政権のレガシーの1つとすべく、この新たな在留資格を、経済発展に寄与させるよう、大胆に推進していただきたいと思います。

本方針を踏まえまして、本年末までに新たな改革工程表を策定することとしました。引き続き、経済・財政一体改革委員会にて、有識者からの多面的な意見をいただきながら、関係府省庁と連携して取り組んでいきたいと思っております。

（高橋議員） 私からは、財政健全化への取組について、3点、申し上げたいと思っております。

第1に、今回の骨太の方針では、2025年度にPB黒字化を目指すことを掲げましたけれども、重要なのは、その着実な実行・実現です。目安に数値を挙げていないから財政規律が緩んでいるとの報道がありましたけれども、私は全くそうは思いません。数字ありきではなくて、むしろ、予算の質を重視し、予算の成果を評価し、事後検証をしっかりとしていくことこそが重要だと思います。諮問会議で引き続き議論を進めていきたいと考えております。

第2に、民間議員から提案した2019年10月の消費税率引上げに向け、2019年度と2020年度の当初予算で、目安とは別途、需要変動への機動的対応策を講じること、これが明記されました。この消費税率引上げの影響を乗り越えなければ財政健全化も困難です。賃金や最低賃金の継続的な引上げを含め、可処分所得を引上げ、消費と投資を喚起し、経済の好循環を拡大していくことが重要です。

第3に、今後3年間のうちに社会保障の総合的かつ重点的に取り組むべき施策を取りまとめ、早期の改革を具体化し、社会保障制度の基盤強化を進めると明記されました。新浪議員からもお話がありましたけれども、社会保障制度は多くの国民の関心事であり、関係者も多岐にわたっています。諮問会議では、エビデンスを広く提示しながら、引き続き議論を進めていくことが必要であると考えています。

以上でございます。

(茂木議員) 着実に実行していく。そして、その結果について検証していくことが重要だと御指摘いただきましたが、先ほど申し上げた副題の中でも、「持続的な成長経路の実現」、このような意味も含めて、こうしたサブタイトルをつけさせていただいた次第であります。

他に御意見はございますか。

それでは、お手元の案を経済財政諮問会議の答申として決定したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」と声あり)

(茂木議員) それでは、本案を答申として決定をいたします。

「未来投資戦略2018」(案)について

(茂木議員) それでは、2つ目の議題「未来投資戦略2018」に移りたいと思います。改めて越智副大臣から取りまとめ案について説明をいたします。

(越智内閣府副大臣) 資料3-2をご覧ください。本日は、前回の未来投資会議での議論や与党での審議を踏まえた主な変更点を御説明いたします。

「第1 基本的視座と重点施策」について、2ページ下段をご覧ください。日本の目指す経済社会システムとして、「Society 5.0」の実現とSDGsへの寄与について加えました。10ページ下段をご覧ください。骨太と同様、エネルギー転換・脱炭素化に向けたイノベーションの1つ目のポツの中段に、企業のESG投資が重要であることに鑑み、記述を加えました。同じく10ページの下段、エネルギー転換・脱炭素化における次世代自動車の重要性に鑑み、その普及について記述を加えました。11ページ上段をご覧ください。FinTech/キャッシュレス化の3つ目のポツに、簡易かつ高セキュリティな決済の仕組みの確保について記述を加えました。

続いて、資料3-3「第2 具体的施策」についてをご覧ください。28ページ上段をご覧ください。「医療機関等における健康・医療情報の連携・活用」の3つ目のポツの最後に、「保険医療情報ネットワーク」における介護情報の提供について記述を加えました。69ページ中段をご覧ください。「生産現場の強化」に、農福連携の推進や、女性農業者の出産・育児・介護等との両立を目指した取組について記述を加えました。

(茂木議員) 駆け足で説明をしていただきましたが、内容については既に何度も御議論いただいていることかと思えます。変更点だけ、かいつまんで御説明を申し上げたところであります。

それでは、未来投資戦略の取りまとめ案につきまして、御発言、御意見をいただければと思います。

(中西議員) 本案は大変未来を見据えたわかりやすい形にだんだんできてきたというように思っておりまして、大変ありがとうございます。本案をもとに経団連もリーダーシップを持って発揮していきたいと思えます。中身の一つ一つの項目が、政府の観点からは省庁間横断的な活動が非常に重要になります。産業についても、業界ごとにばらばらにやっていたのではだめだと思えます。さらにもう少し申しますと、産と官と学、この3つが本当に連携をとって進めていくことが非常に必要だというように思えますので、その辺、力を合わせて日本の活力を盛り上げていきたいと思えます。

もう一つだけ、国民の理解ということが、これは私も経団連の会長になりましてから再三指摘されました。まだまだ届いていない。もっとしっかり理解していただけるように色々なアクティビティーが是非とも必要だということで、これからそういう方向性がここではっきり明快になったということで、大変意義のあることではないかと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(茂木議員) 省庁横断、そして、産業横断、さらには産学官を連携した取組をしっかり進めていきたいです。この未来投資戦略でも産官協議会、もちろんアカデミアの皆様にも御参加をいただきますが、これを今後、立ち上げることにしておりますので、またよろしく願いいたします。

(金丸議員) 私は、「未来投資戦略2018」をチャンスと危機と、この2つの思いからまとめることに参画をさせていただきました。一言、意見を述べさせていただきます。

最新の技術革新をいかに早く社会実装し、利便性や生産性を非連続に向上させるというイノベーション競争が、第4次産業革命以降のグローバル競争の新しい舞台です。技術革新は強いものにのみ有利に作用するのではなく、一見、条件不利なものがハイテクを有効活用すれば、条件不利を希少価値に転換させることが可能です。

最近の報道のマイクロソフトが75億ドルで買収を発表した世界最大のオープン

ソースが格納されているサイトGitHub上のプログラムは、実は無料でありまして、人工知能ソフトも世界中どこにいても、インターネットさえ接続されていればダウンロードできます。持てる者と持たざる者の格差より、利用するか、行動するかしないかが格差を生み出す時代と言えます。

霞が関にあるほとんどの制度は、インターネットやスマホ時代を前提にはしていません。もちろん、コンピューターが目や耳の機能を有することを前提にはしていません。大きな時代の変化の前に、20世紀の常識はむしろ非常識です。法制度が日本人の本来有する創造性や変化対応力を阻害することはあってはなりません。スピードが勝負だと思います。失敗から学び、どんどん前進していくことが重要です。規制のサンドボックス制度は、まさにその考えの先陣を切るものですが、「未来投資戦略2018」で取り上げた産官協議会における次世代モビリティ、次世代ヘルスケアは、どの重点分野における取組もまずやってみる、やりながら社会に実装するという考え方でどんどん進めていってほしいと思います。もちろん、世界と未来を見据え、制度も躊躇無くどんどん変えていってほしいと思います。

また、この未来投資戦略ではAI人材に関する取組も入れていただきました。情報を読み、書き、そろばんにまで高める。学部・学科の縦割りを越えてAIの学位プログラムを創設する。こうした取組の中で、どれだけ大人が日本の若者のサポーターに徹して叡智を引き出す度量を持てるか、今後の成長戦略の推進に当たっては、そうした心構えで進めていただきたいと思います。

(茂木議員) 利用するかしないか、やるかやらないかが重要だ。たしかアインシュタインも成功の反対語は失敗ではない、やらないことだ、このように言っていたと思います。

他に御発言ございますか。よろしいでしょうか。

それでは、お手元の案を未来投資会議の取りまとめとしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」と声あり)

(茂木議員) それでは、そのようにさせていただきます。

ここでプレスが入ります。

(報道関係者入室)

(茂木議員) それでは、総理から締めくくり発言をいただきます。

(安倍議長) 本日、こうして骨太方針2018と未来投資戦略2018を取りまとめたいただき、心から感謝申し上げます。

日本経済は、人手不足感が高まる中で、質・量の両面で人材を確保するとともに、生産性の向上により、その潜在成長率を高めていくことが急務となります。

少子高齢化による成長制約の壁を打ち破るため、人づくり革命で待機児童問題解消、幼児教育・高等教育の無償化等を明記するとともに、Society 5.0の実現に向けた生産性革命の具体策を明記しました。

また、最大のチャレンジである働き方改革の実行・実現を明記しています。一定の専門性・技能を有し、即戦力となる外国人材に関する新たな在留資格の創設などの方針も明記しました。

さらに、財政健全化目標として、2025年度の国・地方を合わせたプライマリーバランス黒字化を明記しています。

副題は「少子高齢化の克服による持続的な成長経路の実現」としました。

実行が大切です。茂木大臣を始めとする関係大臣には、よろしく申し上げます。

実行については、生産性革命の重点分野で産官協議会を設け、新たな若い世代の民間の叡智を取り込みつつ、政策形成を進めていきます。

経済・財政一体改革については、新たな改革工程表を年末までにお示しいたします。

議員各位には、多大な御尽力をいただいたことに対しまして、改めて御礼申し上げます、また引き続きの御協力をよろしくお願いいたします。

（茂木議員） ありがとうございます。

（報道関係者退室）

（茂木議員） 本日、この後の閣議におきまして「骨太方針2018」と「未来投資戦略2018」を閣議決定する運びとなります。取りまとめに御尽力いただきました皆様、議員の皆様にご心より感謝申し上げます。また、今後ともさまざまな形で御協力いただきますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上をもちまして本日の会議、終了いたします。